

2 重要物品の活用状況について

- (1) 機械器具、車両、船舶
 ア 使用形態別の使用日数の状況
 重要物品は比較的長期にわたり使用可能なものであることから、有効活用が一層重要である。そこで、重要物品の活用状況を把握するため、その使用日数について調査した。今回調査対象となった重要物品の平成21年度における使用形態別の年間使用日数は、表3-12のとおりとなっている。
- (イ) 「自所属のみ使用」に係る年間使用日数は、「使用実績なし」のものが240点(13.5%)、「1日～30日使用」のものが342点(19.3%)、「31日～60日使用」のものが230点(13.0%)、「61日～90日使用」のものが88点(5.0%)、「91日～180日使用」のものが257点(14.5%)、「181日～365日使用」のものが615点(34.7%)となっている。
- (ロ) 「他所属と共同使用」に係る年間使用日数は、「1日～30日使用」のもの、「31日～60日使用」のものと及び「61日～90日使用」のものが各1点(各2.4%)、「181日～365日使用」のものが3点(7.1%)、「常時貸出」のものが36点(85.7%)となっている。
- (ハ) 「外部に貸出し」に係る年間使用日数は、「使用実績なし」のものが9点(2.3%)、「1日～30日使用」のものが2点(0.5%)、「31日～60日使用」のものと及び「61日～90日使用」のものが各1点(各0.3%)、「91日～180日使用」のものが345点(88.0%)、「181日～365日使用」のものが20点(5.1%)、「常時貸出」のものが14点(3.5%)となっている。
- (ニ) 「施設等利用者」の利用に供するものに係る年間使用日数は、「使用実績なし」のものが2点(9.1%)、「1日～30日使用」のものが3点(13.6%)、「181日～365日使用」のものが17点(77.3%)となっている。
- (ホ) 「指定管理者」が管理しているものに係る年間使用日数は、「使用実績なし」のものが24点(10.0%)、「1日～30日使用」のものが20点(8.3%)、「31日～60日使用」のものが22点(9.1%)、「61日～90日使用」のものが8点(3.3%)、「91日～180日使用」のものが9点(3.7%)、「181日～365日使用」のものが158点(65.6%)となっている。
- (ヘ) 「その他」に係る年間使用日数は、「使用実績なし」のものが2点(2.0%)、「1日～30日使用」のものが13点(13.0%)、「31日～60日使用」のものと及び「61日～90日使用」のものが各2点(各2.0%)、「181日～365日使用」のものが81点(81.0%)となっている。
- なお、「その他」の使用形態としては、「図書館における貸出・閲覧図書等用書架」が68点及び「管理委託業者が使用」が18点などとなっている。
- (キ) 機械器具、車両、船舶全体では、「使用実績なし」のものが277点(10.8%)、「1日～30日使用」のものが381点(14.8%)、「31日～60日使用」のものが256点(10.0%)、「61日～90日使用」のものが100点(3.9%)、「91日～180日使用」のものが611点(23.8%)、「181日～365日使用」のものが894点(34.8%)、「常時貸出」のものが50点(1.9%)となっている。
- (ク) 機械器具、車両、船舶全体のうち60.5%は年間91日以上使用されており、相当程度活用されているものと思われるが、使用実績のないものなども一部みられたところである。

表3-12 使用形態及び使用日数の状況（機械器具、車両、船舶）

	(単位：点、円、%)															
	自所属のみ使用				他所属と共同使用				外部に貸出し				施設等利用者			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
使用実績なし	240	13.5	1,297,241,936	15.7	0	0.0	0	0.0	9	2.3	49,272,140	1.1	2	9.1	4,636,972	8.4
1日～30日使用	342	19.3	1,301,716,049	15.7	1	2.4	1,302,000	1.4	2	0.5	13,484,730	0.3	3	13.6	6,960,000	12.6
31日～60日使用	230	13.0	1,252,466,840	15.1	1	2.4	2,184,000	2.3	1	0.3	1,480,500	0.0	0	0.0	0	0.0
61日～90日使用	88	5.0	354,015,125	4.3	1	2.4	2,205,000	2.3	1	0.3	1,313,250	0.0	0	0.0	0	0.0
91日～180日使用	257	14.5	1,350,377,990	16.3	0	0.0	0	0.0	345	88.0	4,289,999,458	92.5	0	0.0	0	0.0
181日～365日使用	615	34.7	2,718,398,059	32.9	3	7.1	8,179,447	8.5	20	5.1	250,817,355	5.4	17	77.3	43,594,153	79.0
常時貸出	0	0.0	0	0.0	36	85.7	82,548,000	85.6	14	3.5	32,827,022	0.7	0	0.0	0	0.0
合計	1,772	100.0	8,274,215,999	100.0	42	100.0	96,418,447	100.0	392	100.0	4,639,194,455	100.0	22	100.0	55,191,125	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
	使用実績なし	24	10.0	97,120,439	4.4	2	2.0	20,925,480	6.2	277	10.8	1,469,196,967
1日～30日使用	20	8.3	63,393,995	2.9	13	13.0	92,270,157	27.4	381	14.8	1,479,126,931	9.5
31日～60日使用	22	9.1	104,659,573	4.7	2	2.0	52,696,350	15.6	256	10.0	1,413,487,263	9.0
61日～90日使用	8	3.3	17,687,184	0.8	2	2.0	25,873,250	7.7	100	3.9	401,093,809	2.6
91日～180日使用	9	3.7	66,424,485	3.0	0	0.0	0	0.0	611	23.8	5,706,801,933	36.5
181日～365日使用	158	65.6	1,870,620,965	84.3	81	81.0	145,075,194	43.1	894	34.8	5,036,685,173	32.2
常時貸出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	50	1.9	115,375,022	0.7
合計	241	100.0	2,219,906,641	100.0	100	100.0	336,840,431	100.0	2,569	100.0	15,621,767,098	100.0

イ 使用実績がない又は少ない理由

平成21年度における年間使用日数が「使用実績なし」及び「1日～30日使用」とした物品について、使用実績がない又は少ない理由は表3-13のとおりとなっている。

(ア) 「自所属のみ使用」に係る使用実績がない又は少ない理由は、「導入目的達成」が65点(11.2%)、「陳腐化」が38点(6.5%)、「故障」が19点(3.3%)、「平成21年度未取得」が24点(4.1%)、「所定の利用機会がなかった」が160点(27.5%)、「その他」が276点(47.4%)となっている。

なお、「その他」の主な理由としては、「年間の授業、訓練又はモニタリング計画に基づいて使用するため」が70点、「使用時期が限定されているため」が61点及び「実習時のみ使用のため」が37点などとなっている。

(イ) 「他所属と共同使用」に係る使用実績がない又は少ない理由は、「その他(通年で常時使用する物品ではないため)」が1点(100.0%)となっている。

(ウ) 「外部に貸出し」に係る使用実績がない又は少ない理由は、「陳腐化」及び「利用申込がなかった」が各1点(各9.1%)、「平成21年度未取得」及び「所定の利用機会がなかった」が各4点(各36.4%)、「その他(1年に6回の団体投票測定のみに使用しているため)」が1点(9.1%)となっている。

(エ) 「施設等利用者」の利用に供するものに係る使用実績がない又は少ない理由は、「所定の利用機会がなかった」が4点(80.0%)、「その他(水質調査をする時のみ使用)」が1点(20.0%)となっている。

(オ) 「指定管理者」が管理しているものに係る使用実績がない又は少ない理由は、「陳腐化」が4点(9.1%)、「利用申込がなかった」が17点(38.6%)、「平成21年度未取得」が1点(2.3%)、「所定の利用機会がなかった」が21点(47.7%)、「その他(業者委託している)」が1点(2.3%)となっている。

(カ) 「その他」に係る使用実績がない又は少ない理由は、「導入目的達成」が2点(13.3%)、「所定の利用機会がなかった」が13点(86.7%)となっている。

(キ) 機械器具、車両、船舶全体では、「導入目的達成」が67点(10.2%)、「陳腐化」が43点(6.5%)、「故障」が19点(2.9%)、「利用申込がなかった」が18点(2.7%)、「平成21年度未取得」が29点(4.4%)、「所定の利用機会がなかった」が202点(30.7%)、「その他」が280点(42.6%)となっている。

(ク) 使用実績がないものの中には、後継機器に更新済で当該物品の使用は終了しているものの、部品を利用するため保管しているに過ぎないにもかかわらず、依然として重要物品として管理されているものも見受けられた。

表3-13 使用日数の少ない理由(機械器具、車両、船舶)

(単位:点、円、%)

	自所属のみ使用				他所属と共同使用				外部に貸出し				施設等利用者			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
導入目的達成	65	11.2	548,424,390	21.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
陳腐化	38	6.5	85,602,429	3.3	0	0.0	0	0.0	1	9.1	1,990,000	3.2	0	0.0	0	0.0
故障	19	3.3	62,715,730	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
利用申込がなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	9.1	8,137,500	13.0	0	0.0	0	0.0
平成21年度未取得	24	4.1	125,967,379	4.8	0	0.0	0	0.0	4	36.4	33,379,500	53.2	0	0.0	0	0.0
所定の利用機会がなかった	160	27.5	717,534,206	27.6	0	0.0	0	0.0	4	36.4	13,902,640	22.2	4	80.0	10,096,972	87.1
その他	276	47.4	1,058,713,851	40.7	1	100.0	1,302,000	100.0	1	9.1	5,347,230	8.5	1	20.0	1,500,000	12.9
合計	582	100.0	2,598,957,985	100.0	1	100.0	1,302,000	100.0	11	100.0	62,756,870	100.0	5	100.0	11,596,972	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
導入目的達成	0	0.0	0	0.0	2	13.3	20,925,480	18.5	67	10.2	569,349,870	19.3
陳腐化	4	9.1	20,648,204	12.9	0	0.0	0	0.0	43	6.5	108,240,633	3.7
故障	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	19	2.9	62,715,730	2.1
利用申込がなかった	17	38.6	67,251,564	41.9	0	0.0	0	0.0	18	2.7	75,389,064	2.6
平成21年度未取得	1	2.3	1,165,500	0.7	0	0.0	0	0.0	29	4.4	160,512,379	5.4
所定の利用機会がなかった	21	47.7	69,128,282	43.1	13	86.7	92,270,157	81.5	202	30.7	902,932,257	30.6
その他	1	2.3	2,320,884	1.4	0	0.0	0	0.0	280	42.6	1,069,183,965	36.3
合計	44	100.0	160,514,434	100.0	15	100.0	113,195,637	100.0	658	100.0	2,948,323,898	100.0

ウ 使用記録の有無

重要物品の活用状況を的確に把握し、管理等に反映させるためには、使用記録を残すことも有効な手段であることから、使用記録の有無を調査した。今回調査対象となった重要物品に係る年間の使用記録の有無は、表3-14のとおりとなっている。

- (フ) 「自所属のみ使用」に係る使用記録は、「記録有」が575点(32.4%)、「記録無」が1,197点(67.6%)となっている。
- (ク) 「他所属と共同使用」に係る使用記録は、「記録有」が41点(97.6%)、「記録無」が1点(2.4%)となっている。
- (ケ) 「外部に貸出し」に係る使用記録は、「記録有」が376点(95.9%)、「記録無」が16点(4.1%)となっている。
- (コ) 「施設等利用者」の利用に供するものに係る使用記録は、「記録有」が3点(13.6%)、「記録無」が19点(86.4%)となっている。
- (カ) 「指定管理者」が管理しているものに係る使用記録は、「記録有」が74点(30.7%)、「記録無」が167点(69.3%)となっている。
- (キ) 「その他」に係る使用記録は、「記録有」が2点(2.0%)、「記録無」が98点(98.0%)となっている。
なお、「記録無」の使用形態としては、「図書館における貸出・閲覧図書等用書架」が68点及び「管理委託業者が使用」が18点などとなっている。
- (ク) 機械器具、車両、船舶全体では、「記録有」が1,071点(41.7%)、「記録無」が1,498点(58.3%)となっている。
- (ケ) 常時使用されているものなど、使用記録を必要としないものもあるものの、半数以上の機械器具、車両、船舶に係る使用記録が整備されていなかった。

表3-14 使用記録の有無（機械器具、車両、船舶）

(単位：点、円、%)

	自所属のみ使用				他所属と共同使用				外部に貸出し				施設等利用者			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
記録有	575	32.4	2,010,742,782	24.3	41	97.6	94,234,447	97.7	376	95.9	4,567,163,352	98.4	3	13.6	6,960,000	12.6
記録無	1,197	67.6	6,263,473,217	75.7	1	2.4	2,184,000	2.3	16	4.1	72,031,103	1.6	19	86.4	48,231,125	87.4
合計	1,772	100.0	8,274,215,999	100.0	42	100.0	96,418,447	100.0	392	100.0	4,639,194,455	100.0	22	100.0	55,191,125	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
記録有	74	30.7	233,755,190	10.5	2	2.0	3,486,000	1.0	1,071	41.7	6,916,341,771	44.3
記録無	167	69.3	1,986,151,451	89.5	98	98.0	333,354,431	99.0	1,498	58.3	8,705,425,327	55.7
合計	241	100.0	2,219,906,641	100.0	100	100.0	336,840,431	100.0	2,569	100.0	15,621,767,098	100.0

エ 利用計画の作成状況

重要物品導入時の整備更新計画や利用計画と実際の利用状況を比較することは、重要物品が有効に活用されているかを把握する有効な方法であると思われることから、利用計画の有無について調査した。調査結果は、表3-15のとおりとなっている。

- (フ) 「自所属のみ使用」に係る利用計画は、「計画有」が174点(9.8%)、「計画無」が1,598点(90.2%)となっている。
- (ク) 「他所属と共同使用」に係る利用計画は、「計画無」が42点(100.0%)となっている。
- (ケ) 「外部に貸出し」に係る利用計画は、「計画有」が44点(11.2%)、「計画無」が348点(88.8%)となっている。
- (コ) 「施設等利用者の利用に供するもの」に係る利用計画は、「計画無」が22点(100.0%)となっている。
- (カ) 「指定管理者」が管理しているものに係る利用計画は、「計画無」が241点(100.0%)となっている。
- (キ) 「その他」に係る利用計画は、「計画無」が100点(100.0%)となっている。
なお、「計画無」とされた物品の使用形態としては、「図書館における貸出・閲覧図書等用書架」が68点及び「管理委託業者が使用」が18点などとなっている。
- (ク) 機械器具、車両、船舶全体では、「計画有」が218点(8.5%)、「計画無」が2,351点(91.5%)となっている。
- (ケ) 調査結果としては、常時使用されているものなど、利用計画を必要としないものもあるが、ほとんどの機械器具、車両、船舶について利用計画が作成されていないことが判明した。

表3-15 利用計画の有無（機械器具、車両、船舶）

(単位：点、円、%)

	自所属のみ使用				他所属と共同使用				外部に貸出し				施設等利用者			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
計画有	174	9.8	872,642,731	10.5	0	0.0	0	0.0	44	11.2	455,014,572	9.8	0	0.0	0	0.0
計画無	1,598	90.2	7,401,573,268	89.5	42	100.0	96,418,447	100.0	348	88.8	4,184,179,883	90.2	22	100.0	55,191,125	100.0
合計	1,772	100.0	8,274,215,999	100.0	42	100.0	96,418,447	100.0	392	100.0	4,639,194,455	100.0	22	100.0	55,191,125	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
計画有	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	218	8.5	1,327,657,303	8.5
計画無	241	100.0	2,219,906,641	100.0	100	100.0	336,840,431	100.0	2,351	91.5	14,294,109,795	91.5
合計	241	100.0	2,219,906,641	100.0	100	100.0	336,840,431	100.0	2,569	100.0	15,621,767,098	100.0

本 利用計画のない理由

利用計画のない理由は、表3-16のとおりとなっている。

- (ア) 「自所属のみ使用」に係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が1,137点(71.2%)、「その他」が461点(28.8%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「年間訓練計画等に基づいて使用するため」が146点、「常設展示、企画展示、貸館展示に使用するため」が36点及び「非常時・緊急時に使用のため」が26点などとなっている。
- (イ) 「他所属と共同使用」に係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が6点(14.3%)、「常時貸出しすることを想定しているから」が35点(83.3%)、「その他(通年で常時使用する物品ではないため)」が1点(2.4%)となっている。
- (ロ) 「外部に貸出し」に係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が65点(18.7%)、「常時貸出しすることを想定しているから」が183点(52.6%)、「その他」が100点(28.7%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「冬期間貸出しすることを想定しているから」が87点などとなっている。
- (ハ) 「施設等利用者」の利用に供するものに係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が18点(81.8%)、「その他」が4点(18.2%)となっている。
なお、「その他」(4点)の理由としては、「ダム湖の管理等に随時貸出ししているため」となっている。
- (ニ) 「指定管理者」が管理しているものに係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が233点(96.7%)、「常時貸出しすることを想定しているから」が8点(3.3%)となっている。
- (ホ) 「その他」に係る利用計画がない理由は、「常時使用することを想定しているから」が86点(86.0%)、「その他」が14点(14.0%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「一括して廃車手続を行うために管理換えを受け、売却までの間のみ保管しているから」が12点などとなっている。
- (ヘ) 機械器具、車両、船舶全体では、「常時使用することを想定しているから」が1,545点(65.7%)、「常時貸出しすることを想定しているから」が226点(9.6%)、「その他」が580点(24.7%)となっている。

表3-16 利用計画のない理由(機械器具、車両、船舶)

(単位:点、円、%)

	自所属のみ使用				他所属と共同使用				外部に貸出し				施設等利用者			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
常時使用することを想定しているから	1,137	71.2	4,626,504,137	62.5	6	14.3	14,861,447	15.4	65	18.7	770,848,926	18.4	18	81.8	45,616,125	82.7
常時貸出しすることを想定しているから	0	0.0	0	0.0	35	83.3	80,255,000	83.2	183	52.6	2,132,728,996	51.0	0	0.0	0	0.0
その他	461	28.8	2,775,069,131	37.5	1	2.4	1,302,000	1.4	100	28.7	1,280,601,961	30.6	4	18.2	9,575,000	17.3
合計	1,598	100.0	7,401,573,268	100.0	42	100.0	96,418,447	100.0	348	100.0	4,184,179,883	100.0	22	100.0	55,191,125	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
常時使用することを想定しているから	233	96.7	2,198,103,994	99.0	86	86.0	278,790,405	82.8	1,545	65.7	7,934,725,034	55.5
常時貸出しすることを想定しているから	8	3.3	21,802,647	1.0	0	0.0	0	0.0	226	9.6	2,234,786,643	15.6
その他	0	0.0	0	0.0	14	14.0	58,050,026	17.2	580	24.7	4,124,598,118	28.9
合計	241	100.0	2,219,906,641	100.0	100	100.0	336,840,431	100.0	2,351	100.0	14,294,109,795	100.0

(2) 美術工芸品

ア 展示形態別の展示日数の状況

調査対象重要物品の平成21年度における展示形態別の年間の展示日数は、表3-17のとおりとなっている。

- (ア) 「自所属で展示」に係る年間展示等日数は、「展示等の実績なし」が20点(12.0%)、「1日～30日展示」が27点(16.2%)、「31日～60日展示」が5点(3.0%)、「61日～90日展示」が28点(16.8%)、「91日～180日展示」が23点(13.8%)、「181日～365日展示」が64点(38.3%)となっている。
- (イ) 「他所属に貸出し」に係る年間展示等日数は、「31日～60日展示」が1点(5.3%)、「常時貸出」が18点(94.7%)となっている。
- (ウ) 「外部に貸出し」に係る年間展示等日数は、「1日～30日展示」が1点(7.1%)、「31日～60日展示」が11点(78.6%)、「91日～180日展示」が2点(14.3%)となっている。
- (エ) 「指定管理者が管理しているもの」に係る年間展示等日数は、「181日～365日展示」が8点(100.0%)となっている。
- (オ) 「その他」に係る年間展示等日数は、「展示等の実績なし」が545点(99.1%)、「181日～365日展示」が5点(0.9%)となっている。
なお、「展示等の実績なし」の形態としては、「収蔵庫に保管」が514点及び「地下倉庫に保管」が16点などとなっている。
- (カ) 美術工芸品全体では、「展示等の実績なし」が565点(74.5%)、「1日～30日展示」が28点(3.7%)、「31日～60日展示」が17点(2.2%)、「61日～90日展示」が28点(3.7%)、「91日～180日展示」が25点(3.3%)、「181日～365日展示」が77点(10.2%)、「常時貸出」が18点(2.4%)となっている。

表3-17 展示形態及び展示日数の状況(美術工芸品)

(単位:点、円)

	自所属で展示				他所属に貸出し				外部に貸出し			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示等の実績なし	20	12.0	31,643,221	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1日～30日展示	27	16.2	194,067,000	8.4	0	0.0	0	0.0	1	7.1	6,000,000	12.6
31日～60日展示	5	3.0	18,530,000	0.8	1	5.3	1,150,000	1.9	11	78.6	27,650,000	58.3
61日～90日展示	28	16.8	146,362,500	6.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
91日～180日展示	23	13.8	183,386,600	8.0	0	0.0	0	0.0	2	14.3	13,797,890	29.1
181日～365日展示	64	38.3	1,729,538,310	75.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
常時貸出し	0	0.0	0	0.0	18	94.7	59,700,000	98.1	0	0.0	0	0.0
合計	167	100.0	2,303,527,631	100.0	19	100.0	60,850,000	100.0	14	100.0	47,447,890	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示等の実績なし	0	0.0	0	0.0	545	99.1	2,817,223,260	99.5	565	74.5	2,848,866,481	53.5
1日～30日展示	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	28	3.7	200,067,000	3.8
31日～60日展示	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	2.2	47,330,000	0.9
61日～90日展示	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	28	3.7	146,362,500	2.7
91日～180日展示	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	25	3.3	197,184,490	3.7
181日～365日展示	8	100.0	81,921,922	100.0	5	0.9	13,200,000	0.5	77	10.2	1,824,660,232	34.3
常時貸出し	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	18	2.4	59,700,000	1.1
合計	8	100.0	81,921,922	100.0	550	100.0	2,830,423,260	100.0	758	100.0	5,324,170,703	100.0

イ 展示等の実績がない又は少ない理由

平成21年度における年間の展示等日数が「展示等の実績なし」及び「1日～30日展示」とした物品について、展示等の実績がない又は少ない理由は表3-18のとおりとなっている。

(ア) 「自所属で展示」に係る展示等実績がない又は少ない理由は、「計画的に展示しているが平成21年度の計画なし」が18点(38.3%)、「その他」が29点(61.7%)となっている。

なお、「その他」の主な理由としては、「春夏秋冬のコレクション展として計画的に展示」が25点及び「資料の劣化を防ぐため、原則として展示期間は30日以内にしている」が2点などとなっている。

(イ) 「外部に貸出し」に係る展示等実績がない又は少ない理由は、「その他(春夏秋冬のコレクション展として計画的に展示)」が1点(100.0%)となっている。

(ロ) 「その他」に係る展示等実績がない又は少ない理由は、「計画的に展示しているが平成21年度の計画なし」が6点(1.1%)、「その他」が539点(98.9%)となっている。

なお、「その他」の主な理由としては、「春夏秋冬のコレクション展として計画的に展示」が500点、「他所属の依頼に基づき、貸し出し等を行っているため」が31点及び「資料保護の観点から、常設展では展示しない」が7点などとなっている。

(ハ) 美術工芸品全体では、「計画的に展示しているが平成21年度の計画なし」が24点(4.0%)、「その他」が569点(96.0%)となっている。

表3-18 展示日数の少ない理由(美術工芸品)

(単位:点、円、%)

	自所属で展示				外部に貸出し				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示場所の不足	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計画的に展示しているが平成21年度の計画なし	18	38.3	26,953,900	11.9	0	0.0	0	0.0	6	1.1	19,800,000	0.7	24	4.0	46,753,900	1.5
平成21年度未取得	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	29	61.7	198,756,321	88.1	1	100.0	6,000,000	100.0	539	98.9	2,797,423,260	99.3	569	96.0	3,002,179,581	98.5
合計	47	100.0	225,710,221	100.0	1	100.0	6,000,000	100.0	545	100.0	2,817,223,260	100.0	593	100.0	3,048,933,481	100.0

ウ 展示等記録の有無

重要物品に係る年間の展示等記録の状況は、表3-19のとおりとなっている。

- (ア) 「自所属で展示」に係る展示等記録は、「記録有」が133点(79.6%)、「記録無」が34点(20.4%)となっている。
- (イ) 「他所属に貸出し」に係る展示等記録は、「記録有」が19点(100.0%)となっている。
- (ロ) 「外部に貸出し」に係る展示等記録は、「記録有」が13点(92.9%)、「記録無」が1点(7.1%)となっている。
- (ハ) 「指定管理者」が管理しているものに係る展示等記録は、「記録有」が8点(100.0%)となっている。
- (ニ) 「その他」に係る展示等記録は、「記録有」が505点(91.8%)、「記録無」が45点(8.2%)となっている。
- (ホ) 美術工芸品全体では、「記録有」が678点(89.4%)、「記録無」が80点(10.6%)となっている。
- (ヘ) このうち、県立美術館においては、美術品の展示等の状況を、作者、題名、作品の写真、状態の記録、点検・異動の記録等が記入された作品カードに記録するとともに、展示作品等が記載された常設展等のパンフレットを保存している。また、数年前から手書きの作品カードを電子データへ移行し、データベースシステムとして整備する作業の一部着手しているが、完成時期は未定とのことであった。
このため、個別の作品については展示等の状況記録が行われているものの、現状では収蔵している美術品の展示履歴を一概できない状況である。

表3-19 展示等記録の有無（美術工芸品）

(単位：点、円、%)

	自所属で展示				他所属に貸出し				外部に貸出し			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示記録有り	133	79.6	2,247,702,921	97.6	19	100.0	60,850,000	100.0	13	92.9	46,250,000	97.5
展示記録なし	34	20.4	55,824,710	2.4	0	0.0	0	0.0	1	7.1	1,197,890	2.5
合計	167	100.0	2,303,527,631	100.0	19	100.0	60,850,000	100.0	14	100.0	47,447,890	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示記録有り	8	100.0	81,921,922	100.0	505	91.8	2,656,188,260	93.8	678	89.4	5,092,913,103	95.7
展示記録なし	0	0.0	0	0.0	45	8.2	174,235,000	6.2	80	10.6	231,257,600	4.3
合計	8	100.0	81,921,922	100.0	550	100.0	2,830,423,260	100.0	758	100.0	5,324,170,703	100.0

エ 展示等計画の作成状況

重要物品に係る展示等計画の状況は、表3-20のとおりとなっている。

- (イ) 「自所属で展示」に係る展示等計画は、「計画有」が2点(1.2%)、「計画無」が165点(98.8%)となっている。
- (ロ) 「他所属に貸出し」に係る展示等計画は、「計画無」が19点(100.0%)となっている。
- (ハ) 「外部に貸出し」に係る展示等計画は、「計画無」が14点(100.0%)となっている。
- (ニ) 「指定管理者」が管理しているものに係る展示等計画は、「計画無」が8点(100.0%)となっている。
- (ホ) 「その他」に係る展示等計画は、「計画無」が550点(100.0%)となっている。なお、「計画無」の形態としては、「収蔵庫に保管」が514点及び「地下倉庫に保管」が16点などとなっている。
- (ヘ) 美術工芸品全体では、「計画有」が2点(0.3%)、「計画無」が756点(99.7%)となっている。

表3-20 展示等計画の作成状況（美術工芸品）

(単位：点、円、%)

	自所属で展示				他所属に貸出し				外部に貸出し			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示計画有り	2	1.2	6,340,000	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
展示計画なし	165	98.8	2,297,187,631	99.7	19	100.0	60,850,000	100.0	14	100.0	47,447,890	100.0
合計	167	100.0	2,303,527,631	100.0	19	100.0	60,850,000	100.0	14	100.0	47,447,890	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
展示計画有り	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3	6,340,000	0.1
展示計画なし	8	100.0	81,921,922	100.0	550	100.0	2,830,423,260	100.0	756	99.7	5,317,830,703	99.9
合計	8	100.0	81,921,922	100.0	550	100.0	2,830,423,260	100.0	758	100.0	5,324,170,703	100.0

本 展示等計画のない理由

重要物品に係る展示等計画のない理由は、表3-21のとおりとなっている。

- (ア) 「自所属で展示」に係る展示等計画がない理由は、「常時展示等することを想定しているから」が25点(15.2%)、「その他」が140点(84.8%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「年度ごとに諸要素を勘案して企画性のある展示をおこなっているため」が110点及び「毎年度の企画に沿って展示物を決定するため」が25点などとなっている。
- (イ) 「他所属に貸出し」に係る展示等計画がない理由は、「その他」が19点(100.0%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「他所属の依頼に基づき、貸し出し等を行っているため」が18点などとなっている。
- (ロ) 「外部に貸出し」に係る展示等計画がない理由は、「常時貸出しすることを想定しているから」が11点(78.6%)、「その他」が3点(21.4%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「年度ごとに諸要素を勘案して企画性のある展示をおこなっているため」が2点などとなっている。
- (ハ) 「指定管理者」が管理しているものに係る展示等計画がない理由は、「常時展示等することを想定しているから」が8点(100.0%)となっている。
- (ニ) 「その他」に係る展示等計画がない理由は、「常時展示等することを想定しているから」が1点(0.2%)、「その他」が549点(99.8%)となっている。
なお、「その他」の主な理由としては、「年度ごとに諸要素を勘案して企画性のある展示をおこなっているため」が500点及び「他所属の依頼に基づき、貸し出し等を行っているため」が36点などとなっている。
- (ホ) 美術工芸品全体では、「常時展示等することを想定しているから」が34点(4.5%)、「常時貸出しすることを想定しているから」が11点(1.5%)、「その他」が711点(94.0%)となっている。

表3-21 展示等計画のない理由（美術工芸品）

(単位：点、円、%)

	自所属で展示				他所属に貸出し				外部に貸出し			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
常時展示等することを想定しているから	25	15.2	72,530,310	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
常時貸出しすることを想定しているから	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	78.6	27,650,000	58.3
その他	140	84.8	2,224,657,321	96.8	19	100.0	60,850,000	100.0	3	21.4	19,797,890	41.7
合計	165	100.0	2,297,187,631	100.0	19	100.0	60,850,000	100.0	14	100.0	47,447,890	100.0

	指定管理者				その他				合計			
	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比	数量	構成比	価格	構成比
常時展示等することを想定しているから	8	100.0	81,921,922	100.0	1	0.2	1,300,000	0.0	34	4.5	155,752,232	2.9
常時貸出しすることを想定しているから	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	1.5	27,650,000	0.5
その他	0	0.0	0	0.0	549	99.8	2,829,123,260	100.0	711	94.0	5,134,428,471	96.6
合計	8	100.0	81,921,922	100.0	550	100.0	2,830,423,260	100.0	756	100.0	5,317,830,703	100.0

第4 改善等を要する事項

監査を行った結果、以下のとおり改善等を要する事項がみられた。

1 重要物品の管理について

(1) 帳票と現物の照合について (25～28ページを参照)

【改善事項】

ア 平成22年4月から11月に処分済の機械器具12点及び平成22年3月以前に処分済となっていた機械器具22点については、いずれも財務規則に基づく和事の承認、物品処分調書の作成及び電算処理要領に基づく重要物品異動報告の手続を行っていない事例である。

該当する機関にあっては、重要物品異動報告を行うなどの是正措置を速やかに講じるとともに、物品担当職員と実際に物品を使用する職員との連携を図るなど所定の手続に漏れが発生しないような対策を徹底する必要がある。

改善を求める機関：8機関

青森県原子力センター、青森県営農大学校、西北地域県民局地域農林水産部、上北地域県民局地域農林水産部、中南部県民局地域整備部、西北地域県民局地域整備部、上北地域県民局地域整備部、下北地域県民局地域整備部

【改善事項】

イ 誤った重要物品異動報告がなされたことにより、本来は主管課の現在高報告書に記載されるべきものが、公所の現在高報告書に記載されている事例については、主管課から複数の物品を管理換えする際に、管理換えしない物品も誤って重要物品異動報告に記載してしまったものと思われる。

該当する機関にあっては、速やかに重要物品異動報告の是正措置を講じるとともに、現在高報告書の提出に当たっては、現物及び備品出納（供用）票等関係書類との照合確認を徹底する必要がある。

【改善を求める機関：2機関 青森県原子力センター及び主管課である原子力安全対策課】

【改善事項】

ウ 国から無償貸与を受け県が管理使用している物品が現在高報告書に記載されている事例については、県の所有物品ではないことから現在高報告書に記載する必要はないものである。

該当する機関にあっては、国から貸与を受けている物品について、現在高報告書から削除すべく手続を行う必要がある。

【改善を求める機関：1機関 青森県原子力センター】

【検討事項】

エ 美術工芸品について、下記の理由により、重要物品増減及び現在高報告書提出時に現物との照合を行っていない所属がある。

- ① 収蔵庫内の作品は厳重な管理（監視カメラ、セキュリティカード）の下で保管されていること
- ② 収蔵庫内には3千点以上の作品が保管されており、作品の劣化を防ぐために梱包されている作品もあり、開梱、梱包作業を行うために経費がかかること
- ③ 確認作業の際、作品を移動することにより、作品が損傷する恐れがあること
- ④ 常設展の展示替が年4回行われており、一部作品の確認が行われていること

該当する機関にあっては、対象物が美術工芸品であるという特殊性を考慮すれば、現物との照合作業に困難が伴うことは認められるものの、重要物品の適切な管理の観点から、現物との照合確認の実施方法について検討する必要がある。

【検討を求める機関：1機関 青森県立美術館】

(2) 保守点検の実施状況について (30～32 ページを参照)

【改善事項】

ア 労働安全衛生法第 45 条の規定に基づき「スキッドステアホイローダー（畜舎内作業機）」の定期自主検査の記録を保存していないものがあった。該当する機関においては、今後は労働安全衛生法及び労働安全衛生規則が定める保存年限に従い、必要ときに直ちに参照できる状態で保管しておく必要がある。

【改善を求める機関：1 機関 青森県営農大学校】

【改善事項】

イ 公用車（除雪関係車両を除く 301 台）について、道路運送車両法第 48 条の定期点検整備を実施していない車両が一部みられた。

公用車の適切な管理のためには法定点検が必要であることから、該当する機関においては、今後は、同法に定められた期間ごとに定期点検整備を実施する必要がある。

改善を求める機関：14 機関

防災消防課、青森県消防学校、青森県原子力センター、青森県営農大学校、中南部地域民局地域農林水産部、三八地域民局地域農林水産部、西北地域民局地域農林水産部、下北地域民局地域農林水産部、東青地域民局地域整備部、中南部地域民局地域整備部、三八地域民局地域整備部、西北地域民局地域整備部、上北地域民局地域整備部、下北地域民局地域整備部

【要望事項】

ウ 自主点検を実施しているものの、その点検記録を保管していないものがあった。自主点検記録は当該物品の適切な管理を行ううえでの資料となるものであることから、該当する機関においては、少なくとも次の自主点検までは当該点検記録を保管しておくことを要望する。

2 重要物品の活用状況について

(1) 使用日数の状況及び展示等の日数の状況について (33～34 ページ及び 43～44 ページを参照)

【要望事項】

直近 1 年間の使用日数をみると、使用実績のないもの及び 30 日以下の使用日数のものが、機械器具等で 658 点 (25.6%)、美術工芸品で 593 点 (78.2%) みられた。使用実績のないものの中には、オイルフェンス、非常用発電装置等の防災資機材や資料保護の必要から展示できないものなど、それぞれの使用目的からみて、使用実績が少ないのが当然と思われるものもあるが、それ以外で長期にわたり使用又は展示等の実績がない若しくは少ないものについては、その理由を整理・検討し、今後の管理のあり方、更新の要否等の検討に反映することを要望する。

(2) 使用実績がない又は少ない理由について (35 及び 36 ページを参照)

【改善事項】

使用実績がない物品の中には、後継機器に更新済で当該物品の使用は終了しているものの、部品を利用するため保管しているに過ぎないにもかかわらず、依然として重要物品として管理されている事例が見受けられた。

該当する機関においては、必要に応じて消耗品等へ分類換えを行うなど適切な取扱いをする必要がある。

【改善を求める機関：2 機関 青森県環境保健センター、青森県原子力センター】

- (3) 美術工芸品の展示等の状況の記録状況について (47及び48ページを参照)

【要望事項】

県立美術館においては、美術品の展示等の状況を、作者、題名、作品の写真、状態の記録、点検・異動の記録等が記入された作品カードに記録するとともに、展示作品等が記載された常設展等のパンフレットを保存している。また、数年前から手書きの作品カードを電子データへ移行し、データベースシステムとして整備する作業に一部着手しているが、完成時期は未定とのことであった。

このため、個別の作品については展示等の状況記録は行われているものの、現状では収蔵している美術品の展示履歴を一覧できない状況である。

美術工芸品をより効率的に管理し、展示等により県民に還元していくためには、約600点の重要物品を含む3千点以上もの作品及びその展示等の状況を網羅的に把握する必要があり、そのためデータベースシステムの整備を計画的かつ着実に実施していく必要がある。

【要望する機関：1機関 青森県立美術館】

- (4) 利用計画、展示等計画の状況について (37～40ページ及び49～50ページを参照)

【要望事項】

今回調査した重要物品のうち、使用記録のない機械器具、車両、船舶が1,498点と全体の58.3%あり、利用計画が策定されていない機械器具、車両、船舶が2,351点と全体の91.5%、展示等計画の策定されていない美術工芸品が756点と全体の99.7%存在する状況が判明したところである。

重要物品が有効に活用されているかを的確に把握するためには、導入時の整備更新計画や利用計画等と使用記録を照合する必要があると思われる。重要物品の導入目的や使用形態等は様々であり、一概に断定できるものではないが、重要物品を管理している各機関においては、利用計画や使用記録の整備の要否について検討することを要望する。

3 総括

平成21年度末現在、普通会計において県が保有する重要物品5,507点のうち3,509点について、今回、行政監査を実施したところである。その結果、一部において改善等を要する事項がみられたので、こうした事案については速やかな対応を求めるものである。

改善等を要する事項は、物品担当職員と実際に物品を使用する職員との連携をきちんととっていけば防げたと思われる事例、物品の現物と関係書類等との照合確認を確実に実施していれば早期に措置できたと思われる事例が多い。

今後は、今回の監査対象とはならなかった機関も含め、重要物品のより適正な管理や有効活用に努めるよう望むものである。

(発行所・発行人)
青森市長島一丁目一番一
号
青森県

(印刷所・販売人)
青森市第一問屋町三丁目番七
号
東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行
定価小口一枚二付十五円一銭